

都内避難者の皆様への

定期便

2017

8月号

NO.139

都内に避難されている皆様へ、
東京都からのお知らせ等の情報を送ります。

都営住宅の募集について

(平成29年8月) (P1~2)

平成29年8月の都営住宅募集案内と、よくお寄せいただく質問にお答えします。

ふるさとに戻ったママさん座談会 【前編】

(P5~7)

県外への避難から福島県内に戻ってきたママさんに、避難生活と戻ってきてからの生活について語っていただく座談会を開催しました。

東京しごとセンター

(P9~10)

東京都が実施する就労相談などのご案内です。

ふるさとからのお知らせ

(P3~4)

ふるさとの今をお知らせします。今月は福島県からです。

現地の応援団より

(P8)

東北で働く応援団をご紹介します。今月は、宮城県に派遣されている若手職員からです。

※今回「司法書士による面談・電話相談のご案内」及び「都内避難者相談拠点のご案内」は別添えとなっています。

次号の発送は、9月1日を予定しています。



東京都

都営住宅の 募集について

平成29年 8月

都営住宅の募集が実施されます。

▶ 募集日程（予定）

平成29年8月1日(火)～8月9日(水)

今回の募集は、家族向（ポイント方式）、単身者向・単身者用車いす使用者向・シルバーピアとなります。

申込書は募集期間中（土曜・日曜・祝日を除く）に限り東京都住宅供給公社都営住宅募集センター、各窓口センター、都庁、区役所、市役所、町村役場で配布します。

■ 平成29年度都営住宅募集予定

募 集 月	対 象 者
平成29年 8月	1. 家族向（ポイント方式） 2. 単身者向・単身者用車いす使用者向・シルバーピア※
平成29年 11月 入居資格緩和 抽選倍率の優遇（避難者特例）	1. 家族向・単身者向（一般募集住宅） 2. 定期使用住宅（若年ファミリー向） 3. 定期使用住宅（多子世帯向） 4. 若年ファミリー向
平成30年 2月	1. 家族向（ポイント方式） 2. 単身者向・単身者用車いす使用者向・シルバーピア※

※シルバーピア：都内に3年以上居住している65歳以上の単身者や夫婦世帯を対象とし高齢者向けの設備仕様を備えた高齢者集合住宅

(注)入居までの期間については住宅によって違いがありますが、申込後、おおよそ5か月～1年後、あき家の発生状況によっては、これ以降になる場合もあります。

詳細は以下の問合せ先にご確認ください。

問合せ先

JKK東京〈東京都住宅供給公社〉都営住宅募集センター

電話

03-3498-8894

午前9時から午後6時
(土・日・祝日を除く)

URL

<http://www.to-kousya.or.jp/toeibosyu/>

都営住宅の募集について、よくお寄せいただく質問にお答えします



Q. 8月募集の「家族向（ポイント方式）」とは？

A. 家族向（ポイント方式）募集は、抽せんによらず、書類審査や実態調査をしたうえで、住宅に困っている度合いの高い方から順に、申込地区ごとの募集戸数分の方を入居予定者として登録するものです。

ひとり親世帯（母子・父子世帯）・高齢者世帯・心身障害者世帯・多子世帯（18歳未満の子どもが3人以上いる世帯）・特に所得の低い一般世帯・車いす使用者世帯等限られた方が対象です。

都内に3年以上お住まいで、都営住宅の入居資格に該当することが必要です（車いす使用者世帯向については都内3年以上という制限はありません）。



Q. 左の「平成29年度都営住宅募集予定」以外に都営住宅の募集はないの？

A. 東京都住宅供給公社都営住宅募集センターでは、「病死等で発見が遅れた住宅」などについて、募集を行います。先着順ではありません（抽せん方式）。次回の募集時期は、10月中旬（家族向及び単身者向）の予定です。

また、都営住宅ではありませんが、東京都住宅供給公社が取り扱う「公社住宅」については、下記へお問い合わせ下さい。

※お電話の際に、避難中である旨お伝えいただくとスムーズです。

●「公社住宅」に関する問合せ先

JKK東京〈東京都住宅供給公社〉公社住宅募集センター

電話番号 03-3409-2244 (代)

営業時間 9:30～18:00（日曜・祝日・年末年始を除く）

ふるさとからのお知らせ

今月は福島県からお知らせします。

復興公営住宅の現在の整備状況

現在、福島県が進めている復興公営住宅について、平成29年4月末時点で、計画戸数4,890戸のうち3,423戸（70%）が完成しました。地区ごとの工程表と進捗状況、各団地の外観と室内の様子動画を福島県ホームページに掲載しています。詳しくは下記福島県ホームページよりご確認ください。

▶地区ごとの工程表と進捗状況

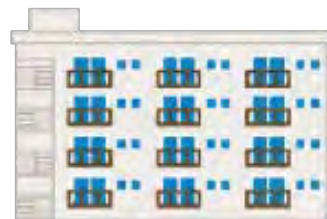
復興公営住宅 地区ごとの工程表と進捗状況

検索

▶各団地の外観と室内

福島 復興公営住宅 動画

検索



●お問合せ先

福島県 建築住宅課 ☎ 024-521-8049

被災12市町村の約300事業者の求人情報サイト

「ふくしまで働こう！復興エリア求人特集」を開設しています

避難指示等の対象となった被災12市町村（田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村）の事業者の人材不足解消を図るため、上記市町村を中心とした求人情報サイトを開設しています。

事業を再開・拡大し、復興を遂げようと意欲に燃える多数の企業が登録しています。求人情報からその思いを感じ取り、ぜひご応募ください。

スタンバイ 福島

検索

市町村ごとの特集、住宅補助あり特集など、会社やお店の社長や従業員のメッセージ付きで、希望の職種を探しやすくなっています。復興エリアで働いてみませんか？

●お問合せ先

経済産業省委託事業
福島求人支援チーム事務局
☎ 0120-954-065

避難地域における医療機関の診察実施状況

現在、福島県内10市町村で、下表のとおり、2つの病院、12の診療所、4つの歯科診療所及び2つの薬局が診療・営業しています。また、南相馬市の小高調剤薬局、富岡町の富岡中央医院及び浪江町の浪江診療所が開所しました。詳しくは下記福島県ホームページをご確認ください。

また、ふたば救急総合医療支援センター（福島県立医科大学）では、双葉郡内にお住いの通院が困難な方を対象に、訪問診療を行っています。詳しくは、お住いの町村の保健福祉担当課にお問合せください。

南相馬市(小高区)	市立小高病院	川俣町(山木屋地区)	川俣町国民健康保険山木屋診療所
	もんま整形外科医院	楢葉町	ときクリニック
	半谷医院		蒲生歯科医院
	小高調剤薬局		ふたば復興診療所(ふたばりカーレ)
田村市(都路地区)	市立都路診療所	富岡町	町立とみおか診療所
	市立都路歯科診療所		富岡中央医院
広野町	高野医院	川内村	川内村国民健康保険診療所
	馬場医院	浪江町	浪江町国民健康保険浪江診療所
	新妻歯科医院	葛尾村	葛尾歯科診療所
	広野薬局	飯舘村	いいたてクリニック

※医師の都合等により、診療日・診療時間は変更となる場合があります。

受診の際はあらかじめ診療日等を医療機関にご確認ください。

避難地域における医療機関の診察実施状況

検索

●お問合せ先

福島県 地域医療課 ☎ 024-521-7915

小児健康診査を開始します

平成29年4月1日現在、対象地域に住民票のある、平成14年4月2日から平成29年4月1日までに生まれた方等は、平成29年7月～12月まで、福島県内小児健康診査医療機関一覧に掲載の医療機関にて県民健康調査「健康診査」を受けることができます。健診費用は無料です。

「小児健康診査」お知らせ、平成29年度「小児健康診査」医療機関一覧等の発送時期は6月下旬～7月上旬を予定しております。また、福島県外に避難されている方には、6月～10月頃県外版を別途お送りいたします。

●お問合せ先

福島県立医科大学
放射線医学県民健康管理センター
☎ 024-549-5130
(土日祝日を除く午前9時～午後5時)

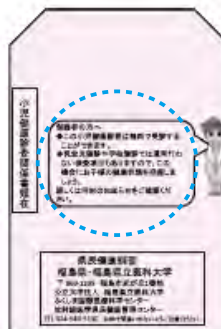
小児健康診査封筒

今年度はこの封筒で小児健康診査対象者へ送付されます。

保護者の方へ

- ◆この小児健康診査は無料で受診することができます。
- ◆乳幼児健診や学校健診では通常行わない検査項目もありますので、この機会にお子さんの健康状態を把握しましょう。

詳しくは同封のお知らせをご確認ください。



ふるさとに戻ったママさん座談会

in 福島県郡山市【前編】

東京が梅雨入りした6月8日。震災後に新築された郡山市中央公民館に、県外への避難から福島県内に戻ってきたママさん5人と福島市内で「みんなの家」や「ママカフェ」を運営するNPO法人 ビーンズふくしまの富田さんをファシリテーターとして迎え、避難生活と戻ってきてからの生活について語っていただく座談会を開催しました。



(参加者…県外避難先) ※順不同

Aさん…兵庫県 Bさん…宮城県 Cさん…兵庫県
Dさん…東京都 Eさん…北海道 Fさん…山形県

●主なトピック

- 避難を決めたきっかけ、場所選びについて
- 避難先での様子について
- 帰還したきっかけ、帰還すると決めた時のことについて
- 時間の経過による変化、戻ってきてからの思いなどについて
- 今も避難をしている方へのメッセージ

【避難を決めたきっかけ、場所選びについて】

富田さん：まずは、避難を決めたきっかけ、避難先をどこにしたかについて話を聞きたいと思います。

Aさん：私は、3/13でした。当時、すごく混乱していました。神戸行の航空券がとれたのがきっかけでした。空港の中で1泊し、翌朝東京でトランジットをして神戸へ向かいました。多くの外国人が大きなスーツケースを持って空港へ来ていたのが記憶に残っています。

Bさん：私は、3/14の深夜1時にとにかく距離をとりたいと思い、旦那さんの知り合いがいる富山へ向かいました。富山で1週間、その後新潟でしばらく過ごし、一度福島に戻った後、また新潟県で4月末から約3ヶ月過ごし、実家のある宮城県へ行きました。

Cさん：私は、3/16か17に避難することにしました。那須塩原から3/16に新幹線が動き始めると聞いたので、夜中に車で向かい、始発の新幹線に乗り、半分パニック状態のような感じで実家へ向かいました。

Dさん：私も同じ時期でした。一度悩みながらも福島で生活しようと決めましたが、実家や友人が心配したこと、お腹に赤ちゃんがいたので心配だったこともあり、主人と相談し、実家に避難することにしました。

Eさん：私は、特に縁はない場所だけど、日光へ行きました。郡山市役所付近の線量が非常に高い映像を見て、『これはやばい、ここにいてはいけない』と思って避難を決めました。とにかく遠くへ逃げたいという思いがあったので、その後北海道へ車とフェリーで向かいました。小学校の関係で避難したのは7月でした。



Fさん：当時、ママ友が続々と避難したという話を聞いていると、だんだん不安が大きくなり、親戚も避難しておいでと言われてくれたので、3/19頃から埼玉や東京の親戚宅を転々としていました。新学期に学校が始まるので一度福島へ戻りましたが、外遊びが制限され、マスクをしなくてははいけないという状況が普通ではないと感じました。山形で借り上げ住宅制度が始まったことを機に夏休みに山形へ転居しました。

【避難先での様子について】

富田さん：避難していた年月や場所もそれぞれですが、実家だからいい点、誰も知らない所だからいい点など様々だと思います。皆さんの避難していた時の様子について話をさせていただきますか。

Aさん：私は、旦那さんの実家のあった神戸に避難していましたが、遠くへ行くほど福島県の実情が耳に入ってこなかったの、とにかく情報が欲しかったです。サロンへ行こうと思ったのは、同じ状況で理解しあえる人、他人事ではなく自分のこととして一緒に話を、考えられる人と会いたかったという思いからです。

Cさん：私は兵庫県加古川市に避難していましたが、避難者が少なかったこともあり、閉鎖的に感じました。近くの市でサロンなどもありましたが、地域によって雰囲気は違っていったように思います。私も同じ気持ちの人と出会いたいと思ってサロンに行きました。しかし、避難元の違いだったり、避難者同士でも考え方が違って、完全に心は開けなかったように思います。『福島県に帰る』と話をすると、『子供に責任持てるの？』と心配されたこともあり。最後は『頑張ってるね』と送り出してくれました。



Bさん：私は宮城県仙台市の実家に避難をしましたが、仙台市も被災地なので自主避難者のための借り上げ住宅の募集が少なく、制度を利用できませんでした。自分だけが『被災した人』という感覚にはならず済んだけれど、福島から来たのは自分だけで、自分ってなんだろうという思いもしました。実家に1年半、その後は全て自腹で実家の近くにアパートを借り2年間、支援もなかったけれど、こんなものなのかなと思っていました。一度、避難者のサークルに行ってみたのですが、みんなの気持ちがバラバラすぎて、一回きりしか参加しなかったです。

Eさん：私は、親戚もいない札幌市へ避難しました。避難者登録をしたら定期便が届くようになり、情報が得られるようになりました。イベントなど、盛んに支援をしてくれたように感じました。避難していた人も多く、コミュニティができていました。当時は特に「支援者」ではない人でもすごく話を聞いてくれて救われたように思ったし、子育て支援センターなどでも暖かく接してくれたし、助けられ、すごく過ごしやすかったです。

Dさん：私は東京の実家に避難をして、避難者登録をしたら定期便が届くようになった。定期便で、避難者の集まる会があることを知っていたけれど、自主避難者である私と、他の参加者と状況が違うのではないかとと思うと行く気持ちになれなかったです。当時は区民ではないという思いから、児童館にも行きにくく感じ、地域の行事にも参加できなかつたです。地域との関わりが全然できなかつたので、子供にも申し訳ないなと思いました。自分の居場所じゃないと思うと自分から動けなかつたです。



富田さん：避難しているママたちは、避難先で生活をしているけど、福島にもいつか帰るといふ両足がつかない感じがして、どっちが自分のホームなんだろうという感じを持つことがあるんですね。実家だから大丈夫と一般的に思われがちだけど、結婚して子供と一緒に住むと、難しいところもあるんですね。

Cさん：私は、ずっと実家から離れて暮らしていたので、子供と両親と一緒に暮らせる日が夢のようで、同級生とも会え、すごく楽しく過ごしていました。定期便などで集まりなどをお知らせも人が集まらないことについては、避難していることを隠したい人もいて、情報提供も、ありがたくないと感じる人もいるという話を聞きました。

【帰還したきっかけ、帰還すると決めた時のことについて】

富田さん：帰る時の話もでしたが、帰ると決めたきっかけや、帰ると決めた時の周りの反応などについて話してもらえますか。

Bさん：私は、いずれ帰ると思って避難していたので、納得できると思った時に帰ってきました。線量、自分や家族の気持ち、経済的な理由などを日々天秤にかけ、ここにいっても、帰っても同じだと思えた時に帰ることを決めました。帰ってきてからの思いを天秤にかけると、『うれしい』という思いが大きく、帰ってきてよかったと思っています。



Aさん：私は徐々に帰ってきてよかったと思えるようになりました。友人の中には帰らないことを決めていて、帰ることへの反応は友人の間でも温度差がありました。帰ってきて4年目、ようやく取り戻せたように感じています。

Cさん：私は、真ん中の子が小学校1年生に入るタイミングで帰ってきました。いつ帰れるのという思いが大きくなり、父が息子と交流できないこともあり、避難生活も2年が限界だと感じました。帰る、帰らないで気持ちが振り子のように揺れ、帰ってもしばらく揺れていました。今は帰ってよかった、あの時の判断は間違っていなかったと思えるようになりました。

Eさん：避難生活が3カ月と短く、北海道での生活がよかったので、私は納得して帰ってきたわけではなかったです。生まれ育った福島なのに、福島が嫌だという思いで1年以上過ごしました。自分のやり方で子供を守ると決めて、家族とも温度差が生じ、対立もしました。徐々に慣れてきましたが。

Dさん：私はずっと『帰らなきゃ、でもまだ帰れない』と考えていました。主人からも会うたびに『いつ帰ってくるの?』と言われる日々で、上の子が年中に上がるタイミングで帰ってきました。主人の意向で、東京で子供を幼稚園に入れてあげられなかったという悔しい思いもありましたが、『やっと普通の生活を送れる』という嬉しさもあり、納得して帰ってきたと思います。でも、福島に戻ると、みんな『普通』の生活をしているので、気になることを口に出せなかったです。

Fさん：自主避難者の多い山形に避難していたので、みなさんの避難先での生活とは違っていたかもしれないです。子供の通う小学校にも避難者が多く、校長先生の計らいで、避難者のお茶会を開いてくれるなど、自主避難者を中心としたつながりをもつことができました。その反面、帰還困難地域からの避難者や地元の方とのつながりは薄かったです。周りにいる人が福島の人ばかりだったので、『場所だけ山形に移動してきた福島県の人』という感覚でした。避難先では、『福島は危ない』と話す人が多く、その影響を受けて、戻ることへの不安もありました。しかし、家族で暮らしたいという思いが大きくなり、納得したというよりも、もう潮時かなと仕方なく帰還を決めた感じでした。帰ってきてしばらくは疑問に思うことも多かったけれど、「ままカフェ」に参加して話をすることで少しずつ良かったと思えるようになり、今は楽しく過ごしています。



【後編】は9月号に掲載します

主なトピック

- ・時間の経過による変化、帰ってきてからの思いなどについて
- ・今も避難をしている方へのメッセージ

●お問合せ先

東京都総務局都内避難者支援課 ☎ 03-5388-2384

現地の応援団より

東北で働く応援団をご紹介します。

今月は東京都から宮城県に派遣されている若手職員からです。

私たちのいる仙台土木事務所は、県南部沿岸における道路や河川などのインフラ整備をしています。現在も復興に向けた工事は次々に行われており、地域のみなさまのご協力も得て新しい道路や堤防などができ上がっていく様子を見ると、復興の力添えになれている実感がわき、とてもうれしい気持ちになります。また、真新しい施設が立ち並ぶ様子を見ると、宮城県の沿岸地域でも着実に復興してきているのを感じられます。

先日訪れた、七ヶ浜町の菖蒲田浜海岸（写真）では、新しい堤防が完成しつつあります。県内有数の海水浴場に数えられる菖蒲田浜海水浴場は、震災後しばらくお休みしていましたが、昨年のプレオープンに引き続き、今年度、7月15日から7年ぶりの海開きが行われました。

堤防からの眺めも素晴らしく、晴れた日には大変気持ちのいい風を感じられます。休日には県内外から多くの人出で賑わうことでしょう。

東北の夏といえば祭り、これから夏本番を迎える宮城でも、気仙沼みなとまつりや仙台七夕祭りなど、数多くのイベントが待っています。

私たちもこうしたイベントを楽しみ、宮城のファンとなって、たくさんの人に宮城の魅力を発信していきたいと思います。



青葉まつり（5月20日・21日）



塩竈神社・しおがまさま 神々の花灯り



荒浜港今泉線



↑ 写真左下の白い部分が新しい堤防
菖蒲田浜海岸（七ヶ浜町）

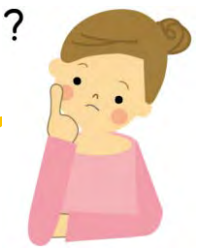
宮城県仙台土木事務所 小関 卓大, 安藤 愛



東京都内で就業希望の皆様へ 私たちがその就職、お手伝いします！

全て無料で
ご利用
できます

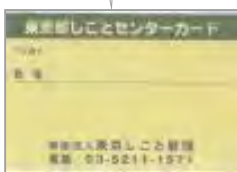
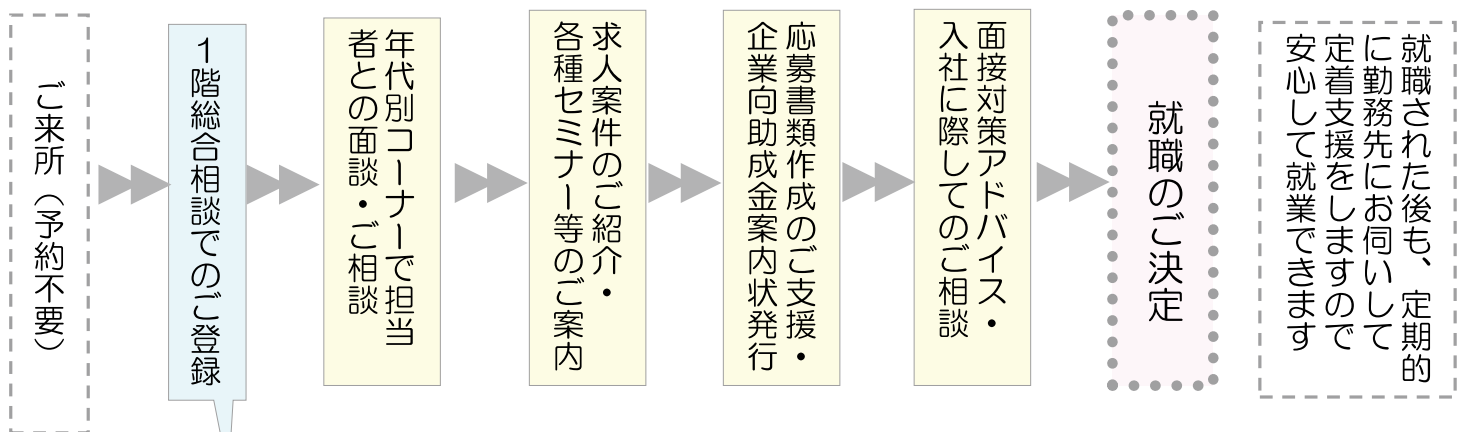
東京しごとセンターってどんなところ？



東京都が設置した、**くしごとに関するワンストップサービスセンター**です。

キャリアカウンセリングや職業紹介、求職活動支援セミナーなど、様々な就職支援サービスを実施しています。緊急就職支援事業とは、東日本大震災で被災された方向けのサービスで、**採用企業への助成金制度や職場定着支援制度などでご就業をサポートします！**

初回ご登録/相談から就職決定までの流れ



予約不要です。
お気軽にお越しください！



＊ ＊東京都緊急就職支援事業採用助成金制度について＊ ＊

東京都及び（公財）東京しごと財団では、東日本大震災により被災された方で都内での就業を希望される方を対象に「東京都緊急就職支援事業」を実施しています。
事業対象の方（事前に事業にご登録する必要があります）を正社員又は6ヶ月以上の有期雇用として採用するとともに、就職後支援（職場定着支援）を6ヶ月受入れ、継続雇用している企業等に助成金を交付します。（支給要件あり）

就職が決定された皆様からのメッセージ

様々な年代の方たちが就職され、新たな出発をされています。



福島県にて震災にあいました。
就活での費用、ハローワーク等への交通費、履歴書を送る郵便代等もかさみ、生活の為に生きる為にしているのに、時間とお金が無くなっていきました。だんだん、就活そのものも先が見えなくなり、出来なくなっていきました。自力では無理なこともあります。頼ることも必要とされる時があります。東京しごとセンターのジョブコーディネーターは定期的に面談をして、じっくりと人となりを分析してくれます。就職希望会社への橋渡しにもなってくれました。 50代 男性

【お問合せ先】

東京都が設置した雇用と就業を支援する施設です。

東京しごとセンター 緊急就職支援事業担当

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-10-3

TEL:03-5211-3312 月～金曜日 9:00～17:00

利用料無料

予約不要

閉館2時間前までのご来所をお勧めします



飯田橋駅から
JR中央・総武線「東口」より徒歩7分
都営大江戸線・東京メトロ有楽町線・南北線「A2出口」より徒歩7分
東京メトロ東西線「A5出口」より徒歩3分
水道橋駅から
JR中央・総武線「西口」より徒歩5分
九段下駅から
東京メトロ東西線「7番出口」より徒歩8分
東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄新宿線「3番出口」より徒歩10分



東京しごとセンター

ご相談窓口一覧

分類	問い合わせ内容	担当部署	連絡先	受付時間
総合	都内での避難生活全般に関する相談窓口	都内避難者相談拠点	0120-978-885	平日9時30分～17時
住宅	都営住宅の募集に関すること	J K K 東京＜東京都住宅供給公社＞都営住宅募集センター	03-3498-8894	平日9時～12時、13時～18時 (土日祝日を除く)
就学	公立小・中学校に関すること	教育庁地域教育支援部義務教育課	03-5320-6752	平日9時～17時
	転入学に関するお問い合わせ (都立高等学校)	都立学校教育部高等学校教育課	03-5320-7851～3	平日9時～17時
	転入学に関するお問い合わせ (都立特別支援学校)	東京都特別支援教育推進室	03-5228-3433	平日9時～17時
	転入学に関するお問い合わせ (都立産業技術高等専門学校)	高専品川キャンパス管理課教務学生係	03-3471-6331	平日9時～17時
	私立学校の被災者支援助成金について のお問い合わせ (幼稚園、小学校、中学校、高等学校等)	生活文化局私学部私学振興課	03-5388-3181	平日9時～17時
子育て・家庭	子供自身や子育て家庭からの あらゆる相談	滞在先の地域の子供家庭支援センター	滞在先の区市町村の暮らしの便利帳を参照(注1)	
	ひとり親家庭のさまざまな相談	東京都ひとり親家庭支援センター	03-5261-8687	9時～16時30分 (年末年始を除く)
	保育施設に関するお問い合わせ	区市町村の保育担当	滞在先の区市町村の暮らしの便利帳を参照(注1)	
子ども	教育相談センター電話相談	東京都教育相談センター	03-3360-8008	平日 9時～21時 (閉庁日、年末年始を除く) 土日祝9時～17時
	いじめに関するご相談	東京都いじめ相談ホットライン	0120-53-8288	24時間365日
女性	緊急の保護や自立のために 支援が必要な女性の相談	東京都女性相談センター	03-5261-3110	平日9時～20時 (年末年始を除く)
		東京都女性相談センター多摩支所	042-522-4232	平日9時～16時 (年末年始を除く)
	暴力の防止と被害者支援および 女性の抱える悩みや 問題についての相談窓口	東京ウィメンズプラザ	03-5467-2455	9時～21時 (年末年始を除く)
		女性のための電話相談・ふくしま	0120-207-440	月～金10時～17時 (祝日を除く)
若者	若者を対象とした相談窓口	東京都若者総合相談センター「若なびα」	03-3267-0808	月～土11時～20時 (年末年始を除く)
	ひきこもりで悩んでいる若者や 家族等の相談窓口	東京都ひきこもりサポートネット	03-5978-2043	月～金10時～17時 (年末年始・祝日を除く)
	ネットや携帯電話に関する 各種トラブルについて相談できる窓口	東京都子どもネット・ケータイヘルプデスク「こたエール」	0570-783-184 03-5844-6847	平日9時～18時 土曜9時～17時 (年末年始・祝日を除く)
高齢者	介護保険サービス等、高齢者や その家族等の総合的な相談・支援	滞在先の地域の地域包括支援センター	滞在先の区市町村の暮らしの便利帳を参照(注1)	
障害者	障害福祉サービス等、障害者や その家族等の総合的な相談・支援	区市町村の障害者福祉担当	滞在先の区市町村の暮らしの便利帳を参照(注1)	
税	被災者に対する都税の 取扱いに関するお問い合わせ	主税局総務部総務課相談広報係	03-5388-2924	平日8時30分～17時
生活資金	生活福祉資金貸付	東京都社会福祉協議会	03-3268-7173	

分類	問い合わせ内容	担当部署	連絡先	受付時間
雇用	就職相談	東京しごとセンター	03-5211-3312	月～金曜日9時～17時 (年末年始・祝日を除く)
	福島での就職や移住・定住・二地域居住を考えている方の相談	福が満開、福しま暮らし情報センター	03-6551-2989	火～日10時～18時 (月、祝日及びお盆、年末年始を除く。日曜はセミナー開催日のみオープン)
	福島に戻って就職を希望されている方の相談	ハローワーク品川 福島就職支援コーナー	03-5419-8609 (部門コード43#)	平日8時30分～17時15分 (土日祝、年末年始は休み)
	雇用保険の失業給付等のお問い合わせ	住所を管轄するハローワーク		
医療・健康	滞在先の近くにある医療機関・休日に診療してくれる医療機関に関するお問い合わせ	医療機関案内サービスひまわり	03-5272-0303	
	放射線に関するお問い合わせ窓口	原子力規制庁	0120-988-359	平日8時半～18時15分 土日祝日8時半～12時
	放射能による健康不安等に関するお問い合わせ	滞在先の地域の保健所	滞在先の区市町村の暮らしの便利帳を参照(注1)	
	福島県「県民健康調査」に関するお問い合わせ	福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター	024-549-5130	9時～17時 (土日祝日を除く)
	臨床心理士による "こころの電話相談"	ほっとラインしゃくなげ東京	03-3813-9017	木曜日10～15時 (年末年始・祝日を除く)
	被災者相談ダイヤル「ふくここライン」	ふくしま心のケアセンター	024-925-8322	平日9時～12時、 13時～17時
その他	一時立入りの受付等のお問い合わせ	一時立入り受付コールセンター	0120-220-788	平日8時～20時 土日祝日8時～17時
	行政書士による賠償請求に関する情報提供、弁護士相談(電話・対面)の予約	原子力損害賠償・廃炉等支援機構	0120-013-814	月～土10～17時 (年末年始を除く)
	原子力損害賠償等に関する相談	福島県原子力損害賠償等に関する相談窓口	024-521-8216	8時30分～17時15分 (土日祝日を除く) ※毎週水曜の13時～17時は、 弁護士による法律相談を実施
	原子力損害の賠償手続きに関する相談	東京電力 福島原子力補償相談室	0120-926-404	平日9時～19時 土日・祝日9時～17時
	原子力損害賠償紛争に関する相談	原子力損害賠償紛争解決センター	0120-377-155	平日10時～17時 (年末年始を除く)
	無料法律相談	司法書士ホットライン	03-3353-2700	月～金10時～15時45分
			042-540-0663	水・木17時～19時45分
	都営交通一日乗車券に関するお問い合わせ(高齢者、障害者対応)	都営交通お客様センター	03-3816-5700	9時～20時(年中無休)
	水道・下水道料金の減免に関するお問い合わせ	(23区内) 水道局お客さまセンター	03-5326-1101	8時30分～20時 (日曜・祝日を除く)
		(多摩地区) 水道局多摩お客さまセンター	0570-091-101 (ナビダイヤル) 042-548-5110 (ナビダイヤルをご利用できない場合)	
運転免許証再交付手数料の免除に関するお問い合わせ	府中運転免許試験場 鯉洲運転免許試験場 江東運転免許試験場	042-362-3591 03-3474-1374 03-3699-1151	平日8時30分～17時15分 (再交付の受付は、16時まで)	
各種手数料(運転免許証再交付手数料を除く。)の免除に関するお問い合わせ ※免除対象手数料については、警視庁ホームページの「東日本大震災に関する情報」を参照	最寄りの警察署			

(注1) 暮らし便利帳は、「暮らしのガイド」やその他の名前でも呼ばれることもありますが、各区市町村が、住民向けに自治体の施設や手続などを案内している冊子です。分からない場合は、当該地域の区市町村にお問い合わせ願います。



全国避難者情報システムへの登録はお済みですか

避難された方で、避難先の市区町村や避難元の市町村の窓口へ、避難していることをまだご連絡されていない方は、避難先住所などを忘れずにご連絡ください。ご連絡をいただくことで、避難元の市町村から様々なお知らせをお届けできるようになります。

なお、避難先を変えられた方や、避難を終了された方も、同様に避難先・避難元の両市区町村へご連絡ください。

区市町村名	受付窓口	電話番号
千代田区	東日本大震災被災者総合相談窓口	03-5211-4176
中央区	①区民生活課 総合窓口係(区役所) ②日本橋特別出張所 区民係 ③月島特別出張所 区民係	①03-3546-5322(直通) ②03-3666-4253(直通) ③03-3531-1153(直通)
港区	①芝地区総合支所区民課 ②麻布地区総合支所区民課 ③赤坂地区総合支所区民課 ④高輪地区総合支所区民課 ⑤芝浦港南地区総合支所区民課	①03-3578-3111 ②03-3583-4151 ③03-5413-7011 ④03-5421-7611 ⑤03-3456-4151
新宿区	地域文化部戸籍住民課住民記録係	03-5273-3601
文京区	区民部区民課	03-5803-1170
台東区	総務部危機・災害対策課	03-5246-1092
墨田区	都市計画部危機管理担当安全支援課	03-5608-6199
江東区	総務部危機管理課被災者支援担当	03-3647-8638
品川区	総務部危機管理室危機管理担当	03-5742-6625
目黒区	戸籍住民課住民記録係	03-5722-9350
大田区	区長政策室区民の声課	03-5744-1135
世田谷区	危機管理室災害対策課	03-5432-2266
渋谷区	危機管理対策部防災計画課	03-3498-9409
中野区	区民サービス管理部区民相談担当	03-3228-8802
杉並区	区民生活部区民課管理係	03-3312-2111
豊島区	区民部総合窓口課管理グループ	03-4566-2331
北区	①危機管理室東日本大震災被災者支援担当(区役所) ②王子区民事務所 ③赤羽区民事務所 ④滝野川区民事務所	①03-3908-9036 ②03-3908-8745 ③03-3901-2693 ④03-3910-0141
荒川区	①戸籍住民課管理証明係(区役所) ②南千住区民事務所 ③町屋区民事務所 ④尾久区民事務所 ⑤日暮里区民事務所	①03-3802-3111(内線2353) ②03-3803-1791 ③03-3892-2321 ④03-3894-6121 ⑤03-3801-2108
板橋区	戸籍住民課	03-3579-2205
練馬区	危機管理室危機管理課庶務係	03-5984-2762
足立区	①戸籍住民課窓口サービス係(区役所) ②伊興区民事務所 ③梅田区民事務所 ④興本区民事務所 ⑤江南区民事務所 ⑥江北区民事務所 ⑦佐野区民事務所 ⑧鹿浜区民事務所 ⑨新田区民事務所 ⑩千住区民事務所 ⑪竹の塚区民事務所 ⑫舎人区民事務所 ⑬中川区民事務所 ⑭西新井区民事務所 ⑮花畑区民事務所 ⑯東綾瀬区民事務所 ⑰保塚区民事務所	①03-3880-5867 ②03-3899-1048 ③03-3880-5381 ④03-3889-0457 ⑤03-3912-9351 ⑥03-3890-4201 ⑦03-3628-3271 ⑧03-3853-2301 ⑨03-3919-7126 ⑩03-3882-1133 ⑪03-3883-1400 ⑫03-3899-4014 ⑬03-3605-8471 ⑭03-3890-4331 ⑮03-3884-4451 ⑯03-3620-1951 ⑰03-3858-9870

区市町村名	受付窓口	電話番号
葛飾区	地域振興部防災課	03-5654-8223
江戸川区	①区民課庶務係(区役所) ②小松川事務所庶務係 ③葛西事務所庶務係 ④小岩事務所庶務係 ⑤東部事務所庶務係 ⑥鹿骨事務所庶務係	①03-5662-6388(直通) ②03-3683-5181 ③03-3688-0431 ④03-3657-1101 ⑤03-3679-1123 ⑥03-3678-6111
八王子市	東日本大震災総合相談センター	042-620-7424
立川市	市民生活部市民課	042-523-2111(内線1360)
武蔵野市	市民部市民課	0422-60-1839
三鷹市	総務部相談・情報センター	0422-44-6600
青梅市	健康福祉部生活福祉課	0428-22-1111(内線2197)
府中市	政策総務部広報課(市民相談室)	042-366-1711
昭島市	企画部企画政策室企画調整担当	042-544-5111(内線2376)
調布市	市民部市民課	042-481-7041
町田市	市民部市民課	042-724-2123
小金井市	総務部地域安全課	042-387-9807 042-387-9806
小平市	市民部市民課	042-346-9804
日野市	総務部防災安全課	042-585-1111(内線7751)
東村山市	環境安全部防災安全課	042-393-5111(内2433)
国分寺市	福祉保健部生活福祉課	042-325-0111(内線533)
国立市	行政管理部防災安全課	042-576-2111(内線145~147)
福生市	総務部安全安心まちづくり課防災係	042-551-1638(直通) 042-551-1511(内線2322)
狛江市	安心安全課	03-3430-1111(内線8201~8204)
東大和市	総務部防災安全課	042-563-2111(内線1352・1353)
清瀬市	総務部防災防犯課	042-492-5111(内線283)
東久留米市	環境安全部	042-470-7777
武蔵村山市	総務部防災安全課	042-565-1111(内線333)
多摩市	総務部防災安全課	042-338-6802
稲城市	市民部市民課	042-378-2111(内線132)
羽村市	防災安全課防災係	042-555-1111(内線206・207)
あきる野市	企画政策課	042-558-1111(内線2211)
西東京市	市民部市民課	042-460-9820
瑞穂町	瑞穂町住民部地域課安全係	042-557-7610
日の出町	町民課窓口サービス係	042-597-0511(内線282)
檜原村	総務課総務係	042-598-1011
奥多摩町	企画財政課	0428-83-2360
大島町	防災対策室防災係	04992-2-0035
利島村	総務課	04992-9-0011
新島村	総務課行政係	04992-5-0240
神津島村	総務課	04992-8-0011
三宅村	総務課防災危機管理係	04994-5-0935
御蔵島村	総務課総務係	04994-8-2121
八丈町	総務課庶務係	04996-2-1121
青ヶ島村	総務課	04996-9-0111
小笠原村	総務課総務係	04998-2-3111

被災地支援に関するイベント情報、避難されている皆様への
情報提供などについて、ツイートしています。



○復興支援対策部のアカウント
@tocho_fukko
https://twitter.com/tocho_fukko

各種支援情報につきましては、
インターネットでもご覧になれます。

(“都内避難者の皆様へ”と検索すると、ご覧いただけます。)



ホームページ

<http://www.soumu.metro.tokyo.jp/17hisaichi/hp/tonaihinansha.html>

※都庁第一本庁舎3階にある「都内避難者情報コーナー」でも、地元紙の閲覧や各種支援情報の提供を行っていますのであわせてご利用ください。
(開設時間平日9時～18時)



～都内避難者支援課からのお願い～

定期便に関するお問い合わせは以下の窓口までご連絡ください。

■「定期便の送付先変更や送付停止」について

⇒都内避難者相談拠点

0120-978-885 (フリーダイヤル)

受付時間 平日9:30～17:00

■「定期便の内容」について

⇒東京都 総務局 復興支援対策部 都内避難者支援課

03-5388-2384 (直通)

受付時間 平日9:00～17:00

発送元

東京都 総務局 復興支援対策部 都内避難者支援課